

	類似疾病検査	疫学調査	臨床検査	送付用検査材料
海15 馬ウイルス性動脈炎〔届〕	① 海8 アフリカ馬疫 ② 148 馬鼻肺炎 ③ 147 馬インフルエンザ ④ 144 馬伝染性貧血 ⑤ 海7 馬ピロプラズマ病 ⑥ 海16 馬モルビリウイルス肺炎	① 馬群のなかに輸入馬と交配した雌馬がいる。 ② 年齢・性別に関係なく感染する。 ③ 妊娠馬では高率な流産(流産率50%以上)がある。 ④ 感受性馬群での発生は数週間続く。 ⑤ 呼吸器または生殖器を介した接触感染による。	① 発熱 ② 鼻漏 ③ 鼻粘膜の充血 ④ 流涙、角膜炎、眼瞼の浮腫、結膜炎 ⑤ 呼吸困難 ⑥ 四肢の浮腫 ⑦ 疝痛、下痢、黄疸 ⑧ 流産 ⑨ 種雄馬では、包皮、陰囊の浮腫 ⑩ 元気消失、食欲減退	① 抗凝固剤加血液 ② 分泌物、排泄物 ③ 脾臓、主要臓器の付属リンパ節、流産胎子(脾臓、肺、肝臓) ④ 流産馬の胎盤 ⑤ 血清
海16 馬モルビリウイルス肺炎〔届〕	① 海15 馬ウイルス性動脈炎 ② 147 馬インフルエンザ	① 1994年オーストラリアで発生し、2006年以降継続的に発生が確認されている。 ② 感染馬の死亡率は高い。 ③ コウモリがウイルスを媒介すると考えられている。 ④ 人にも感染し、死亡することがある。	① 急性呼吸器症状 ② 発熱(41℃) ③ 運動失調 ④ 泡沫性鼻汁 ⑤ 粘膜のチアノーゼ	① 鼻汁、臓器組織(肺、脾臓、腎臓など) ② 血清
海17 馬痘〔届〕	海5 水疱性口炎	① 欧州で20世紀前半まで発生していたが、現在は発生はない。 ② 汚染器物、人を介した接触感染 ③ 牛や人も感染	① 口腔、口唇、鼻鏡、鼻腔、眼瞼、繫部、球節、外部生殖器に水疱、膿疱、痂皮形成 ② 2~4週で回復、免疫は長時間存続	① 水疱液、病変部組織 ② ペア血清
海18 仮性皮膚痘〔届〕	143 鼻疽	① 皮膚の創傷感染による。 ② 伝染力がきわめて強い。 ③ 馬、ロバ、ラバにみられ、四肢などの皮膚に潰瘍、痂皮を形成し、皮下組織、リンパ管、リンパ節を侵す。 ④ 国内での症例は現在確認されていない。	① 皮膚の大豆大ないし、榛実大の球腫、連珠状または索状結節、化膿性潰瘍 ② リンパ管壁が肥厚して索腫、リンパ節の腫大	① 化膿部または膿瘍内容物 ② 血清
海19 ナイロビ羊病〔届〕	① 海6 リフトバレー熱 ② 海29 ボーダー病	① めん羊、山羊および人が発病(人畜共通伝染病) ② 東南アフリカのマダニが伝播する地方流行病 ③ めん羊の死亡率は30~70%。人は軽症。その他動物は不顕性感染	① 41~42℃の発熱、粘血便を伴う下痢(出血性腸炎)、衰弱、流産 ② 腎炎、心筋変性、膀胱壊死	① 脾臓と血液 ② 血清 ③ ホルモン固定臓器
海20 羊痘〔届〕	① 疥癬 ② 168 伝染性膿疱性皮膚炎 ③ 163 ブルータング ④ 海9 小反芻獣疫	① めん羊が感染発病するがメリノ種が最も感受性が高い。 ② 軽症型と重症型がある。 ③ 死亡率は5~50% ④ 主として新生子めん羊の群に発生する。 ⑤ 伝播は主に接触感染およびエアロゾルによる経気道感染	① 高熱 ② 便秘 ③ 眼瞼の腫脹、流涙 ④ 粘膜性鼻漏の排泄 ⑤ 全身の皮膚、特に無毛部や頬粘膜、呼吸器、消化器、泌尿生殖器道粘膜に発症 ⑥ 軽症型では、軽い発熱、尾根下部に皮膚病変	① 膿疱、水疱、滲出液、痂皮 ② 斃死例では肺およびリンパ節等の病変部 ③ 血清 ④ ホルモン固定病変部